第4章　スタートカリキュラム

スタートカリキュラムとして、小学校１年生４月の週ごと、５～７月の月ごとに実践する教育内容などについて記載します。

以下に、スタートカリキュラムを小学校などにおいて実践していくための大切にしたい視点や内容、作成視点についてまとめています。

●スタートカリキュラムで大切にしたい視点

❶ 幼稚園・保育所での経験を活かす。

小学校入学当初においては、子どもがこれまで経験してきた遊びや生活環境を参考にし、取り入れることで、子どもの戸惑いの解消やこれまで身につけた力の発揮につながります。

❷ 合科的・関連的な指導を進める。

就学前の子どもはこれまでに、生活や遊びを通して、さまざまなことを学んできています。

体験を通じた学びが中心である生活科では、就学前に体験してきた内容を活かしつつ、生活科を入口として各教科学習につなげていくことが大切です。

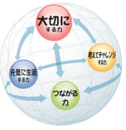
❸ 授業時数や内容を工夫する。

合科的・関連的な指導を進めるにあたっては、授業の単位時間を 15 分モジュールで区切ったり、場合によっては伸ばしたりしながら柔軟な時間割を進めることが効果的です。

例えば、生活科の「春をみつけよう」の課外授業において、45 分で内容を詰めて進めるよりは、60 分に伸ばして時間にゆとりがある中で、国語や算数などの教科学習とつなげながら進めていくなどです。

また、小学校入学により子どもが感じる戸惑いをやわらげるためにも、例えば1時間目は学校生活を楽しめる授業にするなどの、子どもが学校・教科学習になじめるような授業内容の工夫も効果的です。

●スタートカリキュラム一覧

	（5歳児9月～3月）	（小学校1年生4月第1週）	（第2週）	（第3週）	（第4週）	（5月～7月　8月～小学2年生）
育みたい力	 ～学びの芽生え～ ○学びの自立 ○生活の自立 ○精神的な自立	自分も相手も好きになろう！：自分や他人の良さを認め、何事（人・もの・こと）にも興味・関心をもってかかわる。 自分で元気な生活をつくろう！：自立した生活習慣が身につき、規則正しい生活リズムの中で、時間を意識しながら元気な生活を送る。 きいて話して友だちをつくろう！：人の話をよくきき、相手に自分の思いや考えを話すことができる。友だちや保育者・教師とかかわり、協同して活動しようとする。 学びを楽しもう！：文字や数の読みかきの習得や学習する姿勢など、学びの基礎力を身につけるとともに、楽しみながら意欲的に取り組もうとする。 「人」や「もの」とのかかわりの中で				生きる力　未来を切り拓くチャレンジする『八尾っ子』 ～自覚的な学び～ ○基礎的な知識・技能 ○思考力・判断力・表現力 ○学習に取り組む意欲 徳　体　知
ねらい	これまでの経験を活かし、就学への期待を高める ・友だちと協力してやり遂げる。 ・小学校生活への期待をもつ。 ・文字や数への興味・関心を高める。　etc	**初めまして、小学校** ・小学校の生活環境になじむ。 ・朝の準備の仕方を知り、自分で取り組む。 ・教師や友だちの名前を知り、あいさつする。　etc	**授業のはじまり、学習に向かう** ・学校での生活の仕方を知り、自分で取り組む。 ・授業中にしっかりと教師や友だちの話をきく。 ・学習の流れを知り、学習への意欲をもつ。　etc	**係の仕事のはじまり** ・友だちと協力してさまざまな活動に取り組む。 ・一人ひとりが自分の役割を理解し、果たす。 ・学習環境を整え、スムーズに勉強に取り組む。　etc		**時間割に基づく学習活動** ・時間割を理解し、時間割を意識しながら行動する。 ・学習活動の流れをイメージし、学習する姿勢を身につける。 ・学習に対する好奇心や意欲をもち学習を楽しむ。　etc
活動例	・紙すき体験　・異年齢交流　・ごっこ遊び ・体験入学　・小学校探検　・地域散歩 ・生活発表会　・昔遊び大会 ・親子製作　・自動車教習所見学　etc	・学校探検　・異学年交流　・対面式あいさつ　・言葉集め　・かず数え　・春をみつけよう　・仲間づくり　・名刺づくり　・ひらがな覚えよう　・ならびっこかけっこ　・どちらが大きい ・マット遊び　・公園めぐり　・ドッジボール大会　・平和集会　・手話集会　・運動会　・出前授業　・マラソン大会　・なんばんめ　・すきなものなあに　・ひらがなのかき方 ・ふたりでお話し　・あいうえおで遊ぼう　・あわせていくつ、ふえるといくつ、のこりはいくつ　・どうぞよろしく　・お話し読んで　・給食指導　・手遊び　・歌にあわせてあいうえお ・学校で働く人　・安全指導　・ありがとうカード作成　・元気にお返事　・わたしの通学路　・好きなものいっぱい（粘土遊び）　・花の種をまこう　・春の歌を歌おう　etc				
大切にしたい視点	「自分に自信をもち、友だちと認めあう」 これまで経験してきたことを活かし、自分の自信につなげる。友だちと成長したことを認めあう。	●教師や友だちを知り、親しみをもつ。 ●小学校での新しい生活に、楽しみや期待をもち、さまざまなものにかかわろうとする。	●クラスの友だちの良いところを見つける。 ●クラスの友だちに関心をもち、話しかけるなどして関わりを広げる。	●クラス遊びを通して、友だちのかかわりをひろげる。 ●友だちの良いところを見つけようとする。	●自分の考えをもち、相手の意見も尊重する。 ●これまでの経験を活かすとともに、自分の得意なものを新たに見つけたりする。	**ポイント** ・これまでの経験を十分に活かす。 ・その時期のねらいを捉える。 ・4つの視点の連動性を意識する。 ・今後の小学校生活を見通す。
	「基本的生活習慣を身につけ、一日を見通して行動する」 規則正しい生活習慣の大切さを知り、身につける。時間を意識し、主体的に生活を進める。	●小学校での生活習慣やきまりを理解し、楽しい学校生活をスタートさせる。 ●一日の流れを理解し、時間を意識する。	●チャイムを合図とした時間の区切りを知り、時間を意識して行動する。 ●休み時間と切り替え、集中して授業を受ける。	●決められた時間の中で、行動が終わるようにする。 ●担当になった活動を自分で考えて行動する。	●授業のルールを身につける。 ●授業時間と休み時間にけじめをつけ、休み時間は友達と一緒に楽しく遊ぶ。	
	「自分の意見や思いを伝え、相手の話をきく」 友だちと話しあい、相談しながら遊びや生活を進め、協同性を高めていく。	●同じクラスの子どもたちと積極的に話し、友達をつくろうとする。 ●教師の話をしっかりきき、理解する。	●自己紹介を通して、自分のことを言葉で伝え、相手の話をしっかりきき、知ろうとする。 ●自分の考えを自分の言葉で相手に伝える。	●授業や当番の時などに、自分が体験したことや思ったことを自分の言葉で伝える。 ●話を聞いてもらえる安心感と親しみをもつ。	●友だちと楽しく遊ぶためのルールを話しあったり、相談したりしながら決める。 ●相手の意見を尊重し、協同して活動する。	
	「文字や数を使って遊び、学びに向かう力を身につける」 文字や数を取り入れて遊び、好奇心をもって探究し、挑戦してやり遂げる。小学校での学習に期待をもつ。	●学校生活で新たに学ぶことに喜びを感じる。 ●学校生活で出会う言葉や文字、数や数量に対して好奇心をもち、理解しようとする。	●これまでの生活や遊びでの経験を小学校での学習につなげたり、活かしたりする。 ●簡単なひらがなや数字を、遊びを通して学ぶ。	●教材や道具を使って、学習を楽しく、親しみをもって取り組む。 ●学習する姿勢を身につけ、授業を受ける。	●連絡帳やノートを活用して、文字や言葉を正しくかき写すことを身につける。 ●授業や宿題を通して学習が身につく喜びを感じる。	
保育者・教師の援助・環境づくり	子どもが小学校での生活や学習に楽しみを感じるように配慮し、「自覚的な学び」につなげていく。 徐々に学習へ移行する 楽しみタイム：学校生活を知って楽しみにし、学校を好きになる時間 わくわくタイム：生活科を中核とした合科的・関連的な学習をする時間 ちゃれんじタイム：教科ごとの学習に取り組み、意欲的に学習する時間	●小学校の楽しさを伝える。 ●基本的な生活習慣や基本姿勢を身につけさせる。 ●これまでの経験を活かし、自信をもって取り組ませる。	●学校での生活の仕方を教える。 ●学習規律を教える。 ●新しい友だちをつくれるようにする。	●学習規律を身につけさせる。 ●給食指導を通して、給食に興味をもたせる。 ●自分の役割を意識させ、協力関係をつくらせる。	●楽しく宿題に取り組ませる。 ●協同的な学習活動を経験させる。 ●学校生活のルールを定着させる。	子どもが目標に到達できるように指導する。学ぶことへの意識をもたせ、計画的に学習を進める。「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へつないでいく。
家庭・地域との連携	○家庭と一緒に規則正しい生活習慣を身につける。 ○一人ひとりの成長を保護者と共有する。 ○就学に向けた情報提供や相談を行う。 ○家庭でも就学への期待を高める。　etc	○学級通信を通して子どもの様子を知らせたり、行事やもち物などを知らせたりし、子どもたちがスムーズに学校生活を送れるようにする。　○地域ボランティアと子どもの安全を確保する。 ○学校で教えていることを保護者にも伝え、家庭と一緒に身につけさせる。　○授業参観や学級懇談会を通して、保護者と授業内容を共有し、家庭と連携した教育につなげる。 ○家庭訪問を通して、家庭での生活態度や配慮が必要なことについて把握する。　○宿題をする習慣を身につけるように、保護者にも呼びかける。　etc				
幼稚園・保育所との連携	○就学する小学校へ引き継ぎを行う。 ○小学校教師の話をきく機会をもつ。 ○小学校生活へのイメージと期待をもたせる。 ○小学校の行事に参加する。　etc	○幼稚園・保育所での一人ひとりの様子や家庭環境などを情報交換する。　○幼稚園や保育所で取り組んできた学びの内容について共有し、小学校での教育課程に活かす。 ○幼稚園・保育所の保育者も授業参観に参加し、就学前教育・保育と小学校教育の違いや、共通することについて理解する。 ○保護者と小学校での授業中の子どもの様子などを情報交換し、時間割に応じた生活や授業中の態度など、就学前に身につけてほしいことを共有する。　etc				

●スタートカリキュラム（週案）に取り入れたい視点

小学校教育では時間割に基づいた授業が始まり、教師が作成する週案にそって子どもたちは計画的に学習を進めます。

そこで、ここではスタートカリキュラム一覧に示した内容を週案として落とし込み、体系的にスタートカリキュラムを実践・活用していくために取り入れたい視点を記載しています。

【週案に取り入れたい視点　～3つの活動形態～】

小学校１年生４月の週案では、幼稚園・保育所での遊びを中心とした学びから教科学習へ、徐々に活動形態を移行させていくことが必要です。

その中で、入学直後において特に大切にしたい視点としては、子どもが小学校を好きになる、毎日行きたくなる気持ちをもつことだと考えます。

小学校での生活や学習に楽しみを感じ、それをきっかけとして生活科を中核とした合科的・関連的な学習や教科を中心とした学習に対しても意欲的に取り組んでいくことで、自覚的な学びにつながっていくと考えます。

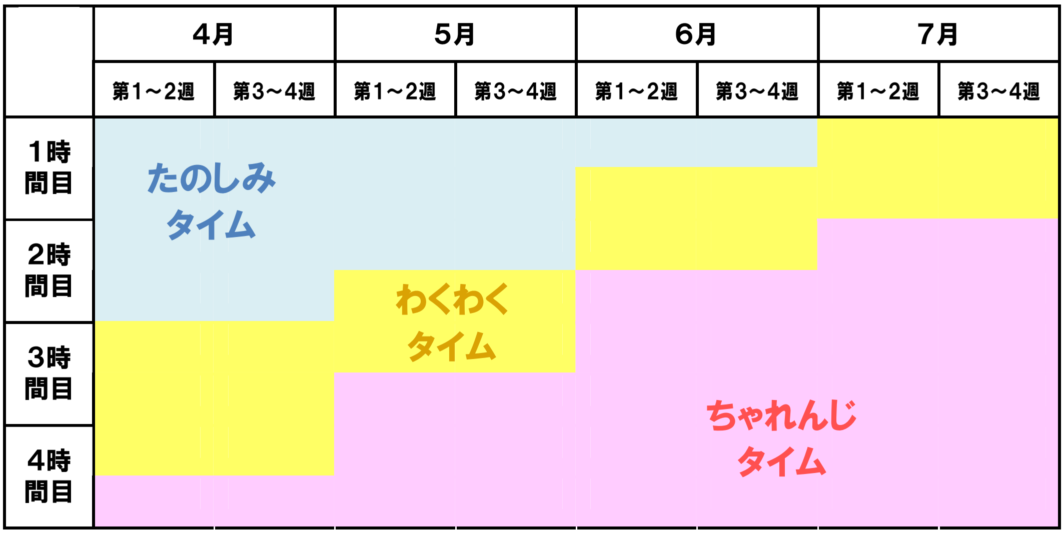
たのしみタイム
～学校が好きになる、行きたくなる～
ふれあい交流や遊びを取り入れた学習などにより、学校生活を知って楽しみにし、学校も教師も友だちも好きになるための時間。

わくわくタイム
～学びに向かい、学びを楽しむ～
生活科を中核とした合科的・関連的な学習を進め、学びの芽生えを活かしながら、学習への興味・関心を高める時間。

ちゃれんじタイム
～学びを深め、意欲的に学ぶ～
教科ごとの学習に取り組み、学びを深め、意欲的に学習していく力を身につける時間。

徐々に、学習へ移行する

■活動形態の移行イメージ



●３つの活動形態の取組み例

たのしみタイム

元気にあいさつ

関連教科　国語　学活

子どもの姿・活動内容

- ゲームを通じて楽しくあいさつする。
- クイズをしながら、いろいろなあいさつを発表しあう。
  「おはよう」
  「いただきます」　　　　など
- ゲームでつくった2人組であいさつする。
- 元気良くあいさつすることを楽しむ。
- 学校でも、家庭でもしっかりとあいさつするようにする。

教師のかかわり

- 子どもの生活知識を活かして活動につなげる。
  「朝起きてするあいさつは？」
  「ご飯を食べる時は？」　　　　など
- ゲームをきっかけに楽しくあいさつできるようにする。
- 教師が積極的に元気なあいさつを示す。
- あいさつをしっかりできることが、礼儀正しいと言うことや、あいさつした方もされた方も気持ちが良くなることを伝える。

初めての学級

関連教科　国語　学活

子どもの姿・活動内容

- 自分の席を探して座り、あいさつをする。「おはようございます。」
- 教師の話をきく。教師の真似をして「〇〇小学校」「〇年〇組」「〇〇〇〇先生」と言う。
- 名前を呼ばれたら元気に返事をする。
- 教師の話を静かにきいて待つ。
- 保護者の人にそばに来ていただき、一緒に配布物の確認をする。
- なぞなぞ大会をする。
- 絵本の読みきかせをきく。
- 次に学校にくる日のことを確認する。
- 帰りのあいさつをする。
  「さようなら」

教師のかかわり

- 自分の名前のシールが貼ってある机を探して、座るよう声かけをする。
- 子どもへ入学のお祝いと、一人ひとりに出会えた喜びを伝える。
- 目を見て、笑顔で名前を呼び、返事の後は一人ひとりを褒めてあげる。
- 静かに待つように声かけをし、保護者へ学級方針などを話す。
- 学年だよりを見ながら、配布物を一つずつ確認する。
- クイズ大会では答えがわかったら、静かに手をあげるよう約束する。これからも学校では読みきかせなどをすることを伝え、登校の楽しみをつくる。
- 元気にあいさつをするよう声かけをする。保護者には、個人的に話がある人は残ってもらうよう声かけをする。

ならびっこ

関連教科
生活 体育 音楽

子どもの姿・活動内容

- 教師の前に並ぶ。
- 教師が移動し、立ち止まったところにスタートの合図で並ぶ。
- 壁にタッチして元の位置に並ぶ。
- 歩き回り、合図で一斉に並ぶ。
- 音楽をかけ、その間ダンスを踊ったり、動き回り、合図で一斉に並ぶ。

教師のかかわり

- 子どもが楽しんでできるように、ゲーム感覚で行う。
- さまざまな並び方ができるように、合図を変えて工夫する。
- 事故が起こらないよう注意する。

先生探検

関連教科
生活 国語 図工 学活

子どもの姿・活動内容

- 学校探検で全教室を知ったところで、先生探検のインタビューをする教師と内容をきめる。
- 教室の入り方、インタビューの仕方を練習する。
- 先生探検にいく。（休み時間）
- インタビューの内容をもとに、原稿に書く。（絵とインタビュー内容）
- クラスで発表練習をする。
- 学年で発表し、交流する。

教師のかかわり

- 3つの質問のうち、2つは固定しておき、もう1つをグループで自由に考えさせる。
- 「失礼します。1年○組の□□です。△△先生にインタビューしに来ました。」と型をきめ、実際に教室でグループごとに練習する。
- まだひらがなが学習途中なので、書けない文字は、きき取った内容を教師が下がきし、子どもになぞらせる。
- 声の大きさやはきはき話すことを伝え、クラスでの練習を通して発表に自信をもたせる。
- 学年で交流することで、全職員のことを知る機会をもつ。

ちゃれんじタイム

ひらがなをおぼえよう

関連教科　国語　図工

子どもの姿・活動内容

- 好きなひらがなを粘土でつくる。

※ひらがな勉強の終わりには、紙粘土で好きなひらがなを一文字つくってペンダントにする。

- 粘土でつくって、見つけたことや、気づいたことについて発表しあう。
- ワークシートに選んだひらがなを練習する。
- 言葉集めビンゴをする。
- 選んだひらがなのつく言葉をたくさん見つけて発表する。
- 集めた言葉の中からいくつか選んでビンゴカードに記入する。

教師のかかわり

- 子どもが好きな粘土を使うことで興味・関心をわかせる。
- ひらがなの特徴を良く見て、つくらせる。

「まるくするところ」「はねるところ」「点を打つ位置」など。

- みんなに自分の意見を発表し、認めてもらえることで、発表することの喜びを感じさせる。
- えんぴつのもち方、姿勢をみんなで確認して、常に意識させる。
- できるだけ、子どもたちの中から出てきた意見を黒板に書いていく。
- 書けないひらがなが出てきた時には、その字は「・」で表すようにする。
- ビンゴになった子どもにはシールをわたす。

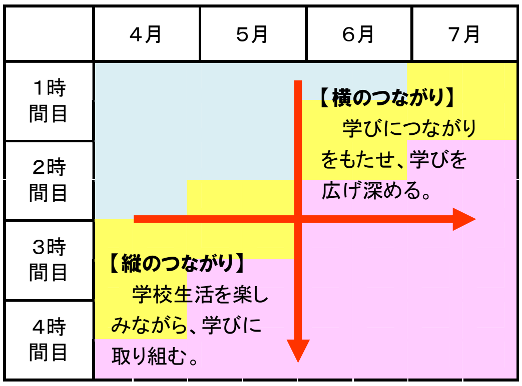
●３つの活動形態の実践に向けて

週案を考える際には、各授業がどの教科（生活、国語、算数、体育、音楽、図工、道徳、学活）として取り組むのかを時数を踏まえながら考えます。

その中で、３つの活動形態（たのしみタイム、わくわくタイム、ちゃれんじタイム）においては、時には複合的に取り入れながら設定し、実践していくものとしてとらえられます。

接続期において、まずは３つの活動形態をどのように位置づけ、移行させていくかをイメージし、それにそって各教科を設定していくことが大切です。

また、縦のつながり（学びに取り組む）と横のつながり（学びを広げる・深める）をもたせながら各教科を設定していくことも大切です。



小学校1年生　4月第1週

テーマ

初めまして、小学校！

学校の様子や生活の仕方を知り、期待をもって楽しむ。また、小学校入学により新しく出会った教師や友だちとともに元気に生活する。

ねらい

- 小学校の生活環境になじみ、安心して楽しく生活する。
- 朝の準備の仕方を知り、自分で取り組もうとする。
- 交通のルールを守り、安全に登下校する。
- 教師や友だちの名前を知り、あいさつをしたり、言葉をかわしたりする。

大切にしたい視点

- 教師や友だちについて知り、親しみをもつ。
- 今までの経験をもとに、新しいことにも興味・関心をもつ。
- 小学校での新しい生活に、楽しみや期待をもち、さまざまな人やものにかかわろうとする。

- 新しい友だちがいっぱいいることを知る。
- 同じクラスの子どもたちと積極的に話し、友だちになろうとする。
- 教師が話す時には、きく姿勢を保ち、話の内容をしっかり理解する。
- 自分の思いや考えを、はっきりと相手に伝わるように自分の言葉で伝える。

- 小学校での生活習慣やきまりを理解し、楽しい学校生活をスタートさせる。
- 小学校生活に必要なものを知り、使い方を身につける。
- 小学校での一日の流れを理解し、チャイムを知る。
- 集団生活の中で、周りの状況を理解しながら、自分で考えて行動する。
- 教師の話をきいて、みんなで一緒に行動する。

- 学校生活に必要なさまざまなことを知り、前向きな姿勢で取り組む。
- 学校生活で新たに学ぶことや、初めて知ることに対して、喜びを感じ、楽しんで取り組もうとする。
- 学校生活で出会う言葉や文字、数や数量に対して好奇心をもち、理解しようとする。

幼稚園・保育所での経験を活かす

- 基本的な生活習慣を身につける。
- 一日の流れを知り、時計を見ながら見通しをもって生活する。
- ふれあい遊びや集団遊びを通して、かかわりを深める。
- 自分が感じたことや体験したことを言葉で相手に伝える。

教師の指導

【ポイント1】

小学校の楽しさを伝える

- 授業や生活の中で、遊びの要素を取り入れながら活動し、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。
- 授業や遊び、生活の中で、子どもができたことを認め、自信をもたせる。

【ポイント2】

基本的な生活習慣や基本姿勢を身につけさせる

- 学校での基本的な生活習慣を丁寧に伝え、確実に身につけさせる。
- 元気にあいさつや返事ができるように繰り返し指導する。
- 自分勝手な行動を見逃さず、注意・指導する。

【ポイント3】

これまでの経験を活かし、自信をもって取り組ませる

- 幼稚園・保育所で行っていた遊びを取り入れ、環境が変わる中でも自信をもって生活できるきっかけをつくる。
- 授業や生活の中で、幼稚園や保育所で行ってきたことを思い出させたりしながら、自分ができることとして自信をもたせる。

環境づくり

クラスに子どもを迎える準備	掲示物を使ってわかりやすく	親しんできた遊具や用具を使って
クラスの壁面を飾って楽しい雰囲気づくりをしたり、在校生が歓迎する機会を設けるなど、楽しい学校生活のスタートがきれるようにする。	朝の準備を絵や文字であらわしたり、声のものさしを用いたりして、視覚的に示しながら指導する。	幼稚園・保育所で使ってきた遊具や道具を用意し、遊んできたことなどを取り入れる。

接続期の工夫

家庭・地域	●学級通信を通して子どもの様子を知らせたり、行事やもち物などを知らせたりし、子どもたちがスムーズに学校生活を送れるようにする。 ●地域ボランティアの人と連携をはかり、登下校の子どもの安全を確保する。
幼稚園・保育所など	●幼稚園・保育所での一人ひとりの様子や家庭環境などを情報交換する。
小学校	●小学校全体で1年生を迎え、見守る体制づくりをする。

事例①

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！

きいて話して友だちをつくろう！

3つの活動形態

わくわくタイム

学校を探検しよう

　クラスごとに校内をめぐって、職員室、校長室、保健室、ふれあいルーム、支援学級の場所とどのような教室なのかを知る。支援学級では、それぞれの教師からも話をしてもらう。

ねらい

　小学校入学後、すぐに利用する可能性の高い教室・部屋を知る。また、支援学級の教師の話や見学により、さまざまな友だちがいることを知る。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●どこの教室・部屋へ探検しにいくのかの説明をきき、それぞれがイメージを膨らませる。	●探検する場所や時間の予定を簡単に説明し、見通しをもたせる。 ●それぞれの教室・部屋の概要を説明し、期待をもたせる。（ポイント①）
実践	●授業中の廊下の歩き方のルール（口をとじて、二人組みで手をつないで）を守り、移動する。 ●職員室、校長室、保健室、ふれあいルームなど、各教室・部屋を見学する。 ●学校には、自分の教室以外にも、さまざまな目的でつくられた部屋があることを知る。 （写真） ●支援学級の見学、教師の話をきく。（ポイント②） ●支援学級の教師から、教室の紹介、通っている子どもについて、どんな学習をしているのかを教えてもらう。	●授業中の廊下の歩き方について教え、意識しながら移動させる。 ●それぞれの教室・部屋の目的や役割について説明し、自分が今後利用する教室・部屋を知らせる。 ●授業中のため、静かにするよう注意する。 ●支援学級の子どもが、頑張って学習している姿に注目するよう声かけをする。（ポイント③）
振り返り	●どのような教室に行ったかを振り返る。	●他にもさまざまな教室があることを伝える。 ●他のクラスや他の学年の友だちと仲良くなれるよう声かけをしていく。

ポイント①

- 子どもが新しく見るものに対するイメージを膨らませたり、想像したりすることが、期待感を高めることにつながり、積極的に楽しんで参加することにつながる。
- 「どんな部屋だと思う？」など、子どもとイメージのやりとりをすることで、自分の考えや意見を言葉で表現したり、想像力を高めることにもつながる。

ポイント②

- 支援学級について、教師から子どもが集中しやすくなるための教室の工夫や、子どもが行っている学習について紹介してもらうことで、配慮や支援が必要な子どもや支援教育について理解を深める。
- 見学する1年生にとってはもちろん、支援学級の子どもにとっても活躍の場であるので大切にしたい機会である。

ポイント③

- 自分のペースで頑張っている子どもを見て、頑張りを認めあえる心を育てることが大切である。
- さまざまな友だちがいることを知り、自分との違いを感じながらも、同じ学校の友だちとしてかかわっていくようにする。

評価・反省

小学校の広い校舎に驚きと楽しみを感じ、これからの小学校生活への期待が膨らんでいた。

1年生は、その後も休み時間に支援学級に遊びにいったり、支援学級の子どもに会った時に声をかけたりと、交流がひろがっていると感じられた。

3学級が、1時間で行おうとしたので、少し時間が足りず、急いで見学した教室もあった。

コメント

さまざまな友だちがいることを知ることは、違いを認めあい、互いに支えあうための第一歩になると考える。

入学当初から、支援学級の子どもについて知ることで人権教育の啓発を進めていけると思う。

事例②

給食を知ろう

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！

自分で元気な生活をつくろう！

きいて話して友だちをつくろう！

3つの活動形態

わくわくタイム

栄養教諭から給食や給食マナーについての話をきき、給食がどんなものか知る。また、給食をつくる際の大きな調理器具を見せてもらい、給食に対する期待をもつ。

ねらい

給食開始に向けて、給食や食について理解するとともに、今後の給食に対する見通しをもてるようになる。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●給食が始まる時期や時間などについて知る。 ●給食は栄養士や調理員がつくってくれることを知る。	●栄養教諭と打ちあわせをして、子どもに指導する日時をきめる。 ●カレンダーを見せながら、給食が始まる時期を伝える。
実践	ポイント① ●栄養教諭から給食や食についての話をきき、興味・関心が高まる。 ●調理の過程で使用する大きな調理器具を見て、給食に対する期待が高まる。 ●給食の準備や後片づけの仕方を知る（エプロンの着方、たたみ方、食器を戻す場所や形態など）。 ●給食がつくられる過程を知り、食材のありがたみや調理してくれる人への感謝の気持ちをもつ。 ●食生活教材「しょくせいかつをかんがえよう」を読み、食材の名前や調理される過程について学習する。	ポイント② ●新しくかかわる人であることを紹介し、あいさつをする。 ●しゃもじと子どもを背比べさせるなど、調理器具の大きさを実感させる。 ポイント③ ●スライドショーを用いて、給食の準備～食べる～片づけまでのマナーを伝える。 ●○×クイズなど、子どもの興味・関心が高まるように工夫する。 ●読みながら給食に対する期待を高められるよう、声かけをする。
振り返り	●栄養教諭にお礼を言い、給食に対する期待を高める。	●給食が始まれば、栄養教諭や6年生を始め、たくさんの人にお手伝いをしてもらいながら楽しく食べられることを伝える。

ポイント①

●栄養教諭という専門的な人から教えてもらうことで、子どもたちも興味・関心が高まっているように感じる。
●食に関する意識が高まり、給食や家庭での食事が健やかな体をつくるために必要なことであるということを理解させる。

ポイント②

●担任を始め、さまざまな教師と出会う1週目である。名前と仕事を知り、「先生探検」などの行事にもつなげていけるように声かけをする。
●栄養士を始め、調理員の存在を知ることで、多くの人が自分たちを支えてくれていることに気づかせ、感謝の気持ちや安心感をもてるようにする。

ポイント③

●スライドショーなどを用いて、具体的に給食の流れや約束事を視覚的にわかりやすく説明することで、子どもが楽しみながら理解していけるようにする。
●一定時間集中して話がきけるように、子どもたちの様子を見ながら必要に応じて指導する。

評価・反省

給食については、幼稚園・保育所と出身園（所）によって知っていることの差がある。実際に調理器具など具体物を見ることで、「おっきいなぁ！」と大歓声があがり、給食に対して興味・関心が膨らんだ。

実際の給食では、多くの教師と6年生に助けてもらいながら楽しんで食べることができた。始めは牛乳が一口しか飲めなかった子どもも、飲める量が増えるごとにクラスの友だちに拍手で認めてもらい、5月に入る頃には1本飲めるようになった。

コメント

給食のプロである栄養士と連携をはかり、子どもにアプローチすることで給食に対する不安を減らし、期待を膨らませることにつながると考える。

給食や食の大切さを伝えるために、スライドショーや調理機器を見せるなど、子どもが楽しみながら理解していく過程を大切にしていきたい。

小学校1年生　4月第2週

テーマ

いよいよ勉強！自分で生活！

授業に向かう意識や態度を身につけ楽しく学習する。また、幼稚園や保育所との違いに気づき、小学校での学習に対する好奇心が高まる。

ねらい

- 学校での生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。
- 授業中は、自分の席に座り、教師や友だちの話をしっかりときく。
- 学習の流れを知り、学習への意欲をもつ。

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！　大切にする力

- 自分の気持ちや考えを大切にし、クラスの友だちに知ってもらおうとする。
- クラスの友だちの良いところを見つけ、親しみをもつ。
- クラスの友だちに関心をもち、話しかけるなどしてかかわりを広げようとする。

きいて話して友だちをつくろう！　つながる力

- 自己紹介を通して、自分のことを言葉で伝え、相手の話をしっかりきき、知ろうとする。
- クラスの友だちと遊びや生活をともにする中でかかわりを広げる。
- 授業を受ける時は、教師や友だちの話をしっかりきく。

自分で元気な生活をつくろう！　元気に生活する力

- チャイムを合図とした時間の区切りがあることを知り、時間を意識して行動する。
- 授業準備（教科書、ノート、筆記用具などを机のうえに出す。休み時間にトイレに行く）をする。
- 休み時間と授業時間の切り替えができ、集中して授業を受ける。

学びを楽しもう！　考えてチャレンジする力

- 教材や道具に親しみ、積極的に学習に取り組む。
- 正しいえんぴつのもち方や文字のかき方、正しい発声の仕方を身につける。
- 簡単なひらがなや数字遊びを通して楽しく学ぶ。

幼稚園・保育所での経験を活かす

- 朝の準備など、身の回りのことを自分でする。
- 自己紹介をしたり、さまざまな場面で自分の考えや思いを言葉で相手に伝えたりする。
- しりとりなどの文字遊びや、友だちとのつながり遊びを活かす。

教師の指導

【ポイント1】

学校での生活の仕方を教える

- 運動場・保健室・職員室・体育館・図書室など生活に必要な場所を教える。
- さまざまな場所の使い方やそこでのルールを伝える。
- チャイムを合図とした時間の区切りを知らせ、休み時間は元気に体を動かして過ごせるようにする。

【ポイント2】

学習規律を教える

- イスの座り方やえんぴつのもち方などを繰り返し丁寧に指導する。
- 「～です」「～ます」を使った発表の仕方を教える。
- 運筆や音読などの学習を行い、学ぶ意識を高める。

【ポイント3】

新しい友だちをつくれるようにする

- クラスで自己紹介をし、友だちを知るきっかけをつくる。
- 体育や生活の時間に、集団遊びを取り入れ、クラスの友だちとのつながりをつくる。
- 下校時に同じ地区の友だちの顔や名前を覚えるように声をかける。

環境づくり

子ども・教師とのかかわり	図や文字を掲示する	友だちを知るきっかけづくり
長い休み時間には、担任は子どもと一緒に運動場に出たり、教師間連携を密にし、教室以外で過ごす子どもたちの安全を確保する。	イスの座り方やえんぴつのもち方、受け答えの仕方などを図や文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。	自己紹介カードや、名刺交換遊びなどを通し、友だちとかかわったり、掲示したりして、お互いを知るきっかけにする。

接続期の工夫

家庭・地域	●学校で教えていること（えんぴつのもち方など）を保護者にも伝え、家庭と一緒に身につけさせていく。
幼稚園・保育所など	●幼稚園や保育所で取り組んできた遊びを通した学びの内容について共有し、小学校での教育課程に活かしていく。 ●幼稚園・保育所の保育者と連携し、子どもそれぞれの特徴を理解する。
小学校	●教師間で子どもの様子に対する情報交換を行い、子どもが小学校生活に慣れるように指導内容の改善・工夫を行う。

事例①

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！

学びを楽しもう！

3つの活動形態

たのしみタイム

対面式であいさつ

始業式・離任式に参加していない1年生が、初めて上級生と会う機会として、異年齢の子どもとふれあう。6年生と手をつないで入場し、1年生があいさつをする。また、簡単なゲームを通して異年齢の交流を深める。

ねらい

学年全員で声をそろえ、大きな声であいさつができるようにする。ゲームのルールを理解し、異年齢と一緒に楽しく遊ぶ。また、ふれあいを通して、上級生との学校生活に楽しみや期待感をもち、学校の一員となった自覚をもつ。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●対面式の意味を知り、理解する。 ●並び方やあいさつの言葉を知る。	●上級生と始めましてのあいさつをすることを伝える。 ●背の順がきまっていないので、名前の順で並ばせる。（ポイント①）
実践	●クラス旗を目印に、他の子どもと一緒に並んで歩く練習をする。 ●大きな声を出し、クラス全体で声をあわせる練習をする。	●隣の人と肩をそろえて歩くことを意識させる。 ●立候補が多い始めと終わりのあいさつは、ジャンケンできめる。 ●学年で実際に並ぶ練習をし、ゲームのルールを理解させる。 ●ジャンケンの勝敗にこだわる子どもには、勝つ時も負ける時もあることを伝える。（ポイント②）
実践	●合同生活の時間を使って、並び方・あいさつの練習をする。 ●ジャンケン列車のルールを理解する。 ●上級生とのジャンケン列車ゲームを楽しむ。 ●朝礼の並び方を知る。	●6年生と手をつないで入場させる。 ●他学年と積極的にジャンケンできるよう声かけをする。 ●クラス旗を目印に朝礼の隊形に並ばせる。
振り返り	●拍手で迎えられ、楽しくゲームをすることで上級生に親しみをもつ。 ●大きな声であいさつできたことに自信をもつ。 ●次回の朝礼の並び方がわかる。	●子どもたちに対面式の感想をきき、大きな声であいさつできた達成感を共有する。 ●手をつないだ6年生が今日から給食の手伝いに来てくれることを伝える。（ポイント③）

ポイント①

- 始業式から1週間で、名前順や地区別順、下校順などたくさんの並び方を覚えた1年生である。対面式では、並び順で混乱がないようにあえて名前順で並ばせている。
- 並び方が難しい子どもには、早く並べた子どもが声かけをするなど、助けあう姿がみられるようになった。

ポイント②

- 練習でジャンケン列車を実施した時、ジャンケンに負けたことが悔しくて動かなくなってしまい、後ろに並ぶことができない子どもがいた。ジャンケンには勝つ時もあれば負ける時もあることを伝え、ルールを守って遊ぶことができたら、またジャンケン列車をすることを約束すると、順番に並ぶようになった。
- 学年や対面式、保護者との交流会で何度かジャンケン列車に取り組むうちに、徐々にその子どもも勝敗にこだわらず、遊べるようになった。

ポイント③

- 上級生と楽しく過ごす時間をもつことで、登校班以外の上級生と意図的にかかわるきっかけとなった。
- 今回遊んだ上級生とまたふれあう機会があることを伝えることで、今後の楽しみや期待をもたせるとともに、上級生や学校生活への親しみを感じさせることにつながった。

評価・反省

対面式で、大きな声であいさつができ、練習の成果を出す機会としても良かった。

始業式から1週間での対面式だったので、あいさつの言葉は教師からの発信だった。1年生にどんな言葉を言いたいかについて、きく時間を設けられると良かった。

6年生と手をつないで入場し、他の学年からも拍手で迎えてもらうことで、学校の一員となる自覚をもつことができた。

コメント

1年生の中には緊張している子どももいたが、6年生が声かけを行ったり、優しく先導してくれたおかげで、全体的に楽しく対面式を迎えることができたと思う。

最上級生との交流は、小学校生活での自分の成長の見通しをもたせるためにも有効な取組みだと思う。上級生にとっても、これまでの学校生活で養った力を発揮できる機会にもなると思う。

事例②

2年生とのふれあい交流

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！

自分で元気な生活をつくろう！

きいて話して友だちをつくろう！

3つの活動形態

たのしみタイム

１年生と2年生がグループをつくり、校内のさまざまな場所をめぐりながらふれあい交流を行う。2年生は、１年生を案内したり、どのような場所か紹介したりする。

ねらい

１年生は、広い校内を探検し、教室の場所や何をするところかを知り、2年生は、１年生にわかりやすく教室の役割を説明したり、案内したりする異年齢の交流で、グループでの活動の中で、協力することの大切さ・楽しさを感じる。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●１年生は、グループをつくる。2年生は、各教室の説明を考えたり、１年生にわたすメダルをつくったりする。 ●2年生は、案内役、教室・場所で教室の説明やクイズを出す役にわかれる。始めと終わりの会の司会進行などもきめる。	●１年生には、グループの説明をし、みんなで協力して探検することを伝える。（ポイント①） ●2年生には、昨年に自分たちがしてもらったことを思い出させ、１年生に楽しんでもらえるように考えさせる。上級生の自覚をもたせ、自分たちで考えて活動させる。
実践	●一つの教室に全員集まり、お互いにあいさつをする。 ●校内をまわる時の注意点をきく。 ●グループの顔あわせをして、１年生は2年生からメダルをもらう。	●2年生に司会進行してもらうことで、１年生に上級生へのあこがれをもたせるとともに、2年生にとっても成長の機会にする。 ●スムーズに顔あわせができるよう、声かけをする。
	●グループごとに探検する中で、グループメンバー同士で次の目的地などを共有しながら、まとまって移動する。（ポイント②） ●授業中のクラスもあるため、静かに移動する。	●１年生同士や2年生と協力してまわっているか観察・声かけをする。
	●各教室・場所で2年生の説明をきき、さまざまな教室・場所の役割などを知りながら、小学校生活への興味・関心を高めている。 ●クイズに答えながら楽しんで探検をする。	●１年生が2年生の説明をしっかりときくように、必要に応じて声かけをする。 ●教室・場所の説明においても、できるだけ子ども同士でのやりとりを見守る。必要に応じて助言を行う。（ポイント③）
振り返り	●終わりの会をする。 ●2年生の代表が終わりの言葉を言い、１年生は全員でお礼を言う。	●これからの学校生活を互いに協力していけるようまとめさせる。

ポイント①

- 2年生は昨年、自分たちが案内してもらっていることを良く覚えている。次は自分たちがお兄さん、お姉さんとなって案内できることをとても楽しみにしている。2年生にとっても上級生としての自覚をもち、また、成長した自分を感じられる大切な機会である。
- 1年生は、2年生の姿を見て、自分たちの1年後の目標とさせて、これからの学校生活に期待をもたせたい。

ポイント②

- 探検でまわる場所を、その都度確認しながら行動し、グループ内での目的を共有することで、協同性を養えるようにする。
- 1年生と2年生が楽しくふれあうことで、1年生が小学校生活へ馴染んでいけるようにする。

ポイント③

- 校内をまわることで、1年生は各場所の位置や役割を知り、学校に慣れさせる。ポイントをまわることだけに子どもが夢中にならないように、各場所でのクイズを出させたり、声かけをしたりする。

評価・反省

1年生にも2年生にも、自分たちで協力しあえる良い活動になった。

少し時間が少なかったように感じたので、場所を減らしたり、もう少し2年生に回り方を考えさせるべきだった。

2年生にとっては、上級生らしく進めていけたので、自己肯定感を高めることにつながっていたと思う。

1年生は、このあと休み時間に校舎内を自分たちで探検するなどしていた。

コメント

1年生も2年生もとても楽しんで活動していた。

子どもたちだけで行動する活動は、ほぼ初めてだったので、自分たちで考え、話しあい、さまざまな子どもとふれあえる機会となっているようだった。

小学校1年生　4月第3週

テーマ

係の仕事、始まるよ！
～勉強も頑張ろう～

給食やそうじ、朝の会などの際に、当番としての役割を理解し、自分から行動する。また、基本的な学習規律を身につける。

ねらい

- 友だちと協力してさまざまな活動に取り組む。
- 一人ひとりが自分の役割を理解し、責任をもって自ら行動する。
- 学習環境を整えて、スムーズに勉強できるようにする。
- みんなで楽しく給食を食べることができる。
- そうじの仕方を知り、きれいになった心地良さを感じる。

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！　大切にする力

- 自分の名前を相手に知ってもらい、相手の名前も覚えることで親しみを深める。
- クラス遊びを通して、友だちとのかかわりを広げる。
- 自分の素敵なところを見つけて、相手に伝えようとする。
- 友だちの良いところを見つけて、かかわりを深めようとする。

きいて話して友だちをつくろう！　つながる力

- 自分が体験したことや思ったことを自分の言葉で伝える。
- 教師や友だちが話している時は、正しい姿勢で、しっかりときく。
- 友だちに話をきいてもらえる安心感を覚え、親しみをもって行動する。
- 給食の準備やそうじなどで、友だちと声をかけあったりしながらスムーズにできるようにする。

自分で元気な生活をつくろう！　元気に生活する力

- 身の回りのことや係活動などで、準備や後片づけなどを自分で考えて行動する。
- 給食やそうじなどにおいて、きめられたことを理解し、守りながら楽しく取り組む。
- 食材や、それを育てている人、調理している人に感謝の気持ちをもち、好き嫌いをせず食べる。

学びを楽しもう！　考えてチャレンジする力

- これまでの生活や遊びでの経験を小学校での学習につなげたり、活かしながら積極的に学ぼうとする。
- 学習する姿勢を身につけ、正しい姿勢で授業を受ける。
- 声を出すことによって、正しい言葉づかいや文字を覚える。
- これまでの生活や遊びの経験を、学習活動に取り入れる。

幼稚園・保育所での経験を活かす

- 朝の身支度を始め、基本的な生活習慣が身につく。
- 道具や身近なものを使って数を数えたり、えんぴつを使って文字や数字をかいたりして遊ぶ。
- 自分が経験したことを、友だちの前で話す。
- 絵本を読むことを通して、文字や言葉にふれる。
- 正しい箸の使い方を確認し、楽しんで給食を食べる。

教師の指導

【ポイント1】

学習規律を身につけさせる

- 授業を受けるための正しい姿勢や、教師や友だちとの受け答えの仕方を身につけさせる。
- ノートやふでばこなどの教材の置き方・使い方を知らせる。
- チャイムを意識して行動できるように指導する。

【ポイント2】

給食指導を通して、給食に興味をもたせる

- 安心して給食を食べられるように個々に配慮する。
- 箸、食器の正しい使い方を知らせる。
- きめられた時間内に食べられるよう見通しをもたせる。
- 食べられる量を配膳して、残さず食べられるように指導する。
- 給食当番の仕事を責任をもって取り組むように指導する。

【ポイント3】

自分の役割を意識させ、協力関係をつくらせる

- 当番活動や班活動においては互いに協力しながら取り組むように声かけをする。
- ほうきやちりとり、ぞうきんなどのそうじ用具の使い方やそうじの仕方を指導する。

環境づくり

学習規律の共有・統一	楽しく給食できる環境づくり	当番表の活用
学校内で異なる授業においても、学習規律を共有・統一することで、子どもへの定着をはかる。	机をくっつけたりしながら子ども同士で楽しく食べられるように工夫する。食材や献立を掲示し、食や栄養に関する興味・関心を高める。	一人ひとりが自分の役割を理解し、責任をもって取り組めるように当番表を工夫し、活用させる。また、その日のうちに、そうじについて振り返りをし、反省・改善点を考えさせる。

接続期の工夫

家庭・地域	●授業参観や学級懇談会を通して、保護者と授業内容を共有するとともに、それぞれの子どもの姿を知ってもらい、家庭と連携した教育につなげる。 ●登下校の際には、地域住民と連携しながら子どもの安全の確保につとめる。
幼稚園・保育所など	●幼稚園・保育所の保育者も授業参観に参加してもらい、就学前教育・保育と小学校教育の違いや、共通することについて理解をはかる。
小学校	●学年会議などで生活上の約束やルール（給食、そうじなど）を統一する。 ●他の小学校での取組みなどを情報共有し、参考になる取組みなどを自校でも実施する。

事例①

大切にしたい視点
自分も相手も好きになろう！
自分で元気な生活をつくろう！
きいて話して友だちをつくろう！

3つの活動形態
たのしみタイム

全校集会への参加

全校集会に参加し、歓迎のあいさつやプレゼントをもらい、お礼のあいさつをする。6年生と一緒に集会の隊形に整列し、校長先生やその他の教師からの話をきく。

ねらい

定期的な学校行事の流れを把握し、整列やあいさつなどの基本的なルールやきまりを理解し、楽しんで参加する。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●全校集会の内容や流れをきき、全体の見通しをもつ。 ●あいさつや返事の練習をして、本番でも大きな声を出せるようにする。	●教師の合図でお礼のあいさつができるように、全員に注目させる。 ●一人ひとりに目を配り、配慮が必要な子どもにはその都度指導する。
実践	●背の順に並び、会場に移動する隊形に整列する。 ●移動中は隊形を崩さずに、順番を守りながら静かに移動する。	ポイント① ●背の順に一度並んでから、バラバラに散らばり、集合場所を変えて集まる練習を何度もさせる。（先頭の向きを変えたり、時間を計ったりしてさまざまなパターンで整列させる。）
	●校長先生やその他の教師からの歓迎のあいさつをきく。 ●6年生から首飾りのプレゼントをもらう。 	●慣れていない場所や行事でも、日頃指導しているような、人の話をきく姿勢や態度がとれているかチェックする。 ●1年生全員が、プレゼントをもらえたかどうか確認する。
	ポイント② ●全員でお礼のあいさつをし、歓迎してくれた人たちへの感謝の気持ちを伝える。 ●集会に臨む隊形に整列し、教師などの話や連絡事項をきく。	●他学年と同様に整列できるように、前後左右の間隔を取るように声かけをする。 ●運動場では、砂で遊んでしまう子どもも多いので、話をきく姿勢を確認させる。
振り返り	●クラスに戻って、全校集会の感想を話しあったりしながら、子ども同士や教師と交流する。	ポイント③ ●子どもたちに、感想を自由に話しあわせる。 ●校長先生の話など、子どもの話の理解度を把握し、集会での注意点を全員で確認する。

ポイント①

- 体育の授業や休み時間を利用して、その都度、背の順を確認するようにする。
- ゲームを取り入れ、素早く並べるように、遊び感覚で取り組むと、さらに意欲的になる。
- 並ぶ場所を覚えにくい子どもには横や前後の子どもを確認させる。子ども同士、お互いに声かけできる雰囲気づくりを大切にする。

ポイント②

- 小学校に入学し、さまざまな人から歓迎されることで、今後の学校生活への期待や楽しみをもてるようにする。
- 感謝の気持ちをもつことの大切さを理解させるとともに、その気持ちを伝えることの大切さも知らせ、行動によって身につけさせる。

ポイント③

- 1年生の、この時期はまだ語彙数も少なく上手く自分の意見を発表できない子どもが多いが、「たくさん、自分の話をきいてほしい」という願望は強い。そこで、まずは隣の席の子どもと意見交流し、その後全体の前で発表する機会を設ける。
- 発表できない子どもも、他の子どもの発表をきくことで自分の意見と同じと感じたり、新たな発見につなげたりできるので意見交流の機会はなるべく多く設けたい。

評価・反省

整列の練習などは、パターンを変えたりしながら反復練習することで徐々に身についていくものである。練習の中でも、子どもたちの主体的な行動を大切にしながら見守り、必要に応じて助言をすることが重要である。

全校集会は、6年生以外にも他の学年の子どもや教師など、さまざまな人を知ることができ、子どもにとっても新しい刺激になったと思われる。

コメント

みんなの前に立つ時、顔がこわばっていた1年生が、6年生からプレゼントを首にかけてもらうととても嬉しそうにしていた。

入学してすぐに「学校は楽しい」という経験をたくさん積むことで、今後の学校生活を円滑に過ごす手助けになると思われる。

事例②

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！

学びを楽しもう！

3つの活動形態

わくわくタイム

こいのぼり制作

画用紙にこいのぼりのウロコの形を印刷したものに、子どもがパスを使って塗る、はさみを使って切る、のりを使って貼り、子どもたちが協力しあってこいのぼり制作を行う。

ねらい

教師の指示をききながら、学習するための基本的な態度・能力を養う。就学前に獲得していると考えられる、塗る・切る・貼るという作業を通して、制作意欲を培う。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●準備物を確認する。（ウロコの台紙、パス、はさみ、のり） ●何色を塗りたいか考えたりしながら、制作するこいのぼりのイメージを膨らませる。	●暖色、寒色、補色、対照色について理解できる範囲でアドバイスする。 ●しま模様や水玉模様など、柄をつけても良いことを伝える。
実践	●各自が考えた色を台紙に塗る。 ●他の子どもたちが塗っている色を見たり、教師の助言をききながら、自分の塗り方も工夫したりする。	ポイント① ●隙間がなく、丁寧に塗れるよう指導する。 ●机間指導をし、子どもの学習状況を把握し、適宜指導を行う。
	ポイント② ●正しくはさみを使いながら、台紙を切り、こいのぼりのウロコを作成していく。 ●はさみを使用する際には、他のことに気がまぎれないようにし、切ることに集中する。	●線にそって正確に切れるように指導する。 ●はさみの正しい使い方や危険防止のための約束を確認する。
	●切ったウロコ型の紙を、こいのぼりをかいた模造紙に貼る。 ●貼る際には、みんなで制作していることを意識し、友だちに貼る順番を譲ったりする。	●貼った時に、ウロコからのりがはみ出ないようにするために適量を考えさせる。 ●さまざまな道具や材料を使用する際の正しい使い方や使用量について、理解できるように適宜指導する。 ポイント③
振り返り	●全員で一つの作品をつくりあげた達成感や満足感を味わう。	●子どもたちに作品を完成させた感想をきいたり、良い点を言ったりしながら、達成感や満足感を味わえるようにする。

ポイント①

- 好き勝手に塗らせるのではなく、本事例の目的に即し、力を入れて濃くしっかりと塗る、隙間がなく塗る、色が混ざらないように塗る、はみ出ないように塗るなどの具体的なポイントを指示する。
- どのように塗るのかを指導者が実際にやってみせる。
- 指示をきき、理解できているかを確認するために、板書を声に出して読んだり、個別にあてて発表させたりして確認する。

ポイント②

- はさみの使い方や、安全に使用するための約束を確認する。
- 線にそって切る時に、手の向きをそのままに紙の向きを変えるなどの技術的な指導を行う。

ポイント③

- 始めに道具や材料の適切な使用について伝えるとともに、教師が見本となって見せることで、子どもにイメージさせることが大切である。
- 子ども同士で教えあったりする姿を見守り、必要に応じて助言をする。

評価・反省

まだまだ全体指導では指導が入りきらない子どもも見られたので、より個別に指導が入るように工夫する必要がある。

塗る、切る、貼るという行為は個人による差が顕著に見られ、個別に援助が必要な子どもも見られる。

塗る学習をする前に練習の時間を設けても良いかもしれない。

就学前に身につけている内容があるので、自信をもっていきいきと取り組める子どもも見られた。

コメント

子どもの就学前に身につけている力を把握するには、このような制作活動は適していると考えられる。

全体指示をきく力を伸ばす取組みは、教科を問わずよりいっそう取り組む必要があると改めて感じた。

こいのぼりができあがった時に、子どもたちはとても喜び満足していたようだった。

小学校1年生　4月第4週

テーマ

いよいよ時間割通り始まるよ！～宿題も頑張ります～

時間割に基づく学習活動を理解し、さまざまな学びに対する好奇心や意欲をもって、友だちと一緒に楽しみながら取り組む。学校生活のルールを知り、身につける。

ねらい

- 時間割を理解し、時間を意識しながら行動する。
- 学習活動の流れをイメージするとともに、話したりきいたりする姿勢を身につける。
- 学習に対する好奇心や意欲をもって取り組み、学びを楽しむ。
- 集団生活を送るうえでのきまりを知る。

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！　大切にする力

- 自分の意見や考えをもつとともに、相手の意見を尊重する。
- 友だちと一緒にいることに楽しみを感じ、かかわりを広げようとする。
- 自分がこれまで経験してきたことを活かしたり、自分の得意なものを新たに見つけたりする。
- 生活科を中心とした学習活動の中で、自然を観察し、生命の大切さを実感する。

きいて話して友だちをつくろう！　つながる力

- 周りの状況に応じて、相手に伝わるように声の大きさを調整する。
- クラスの友だちと楽しく遊ぶためのルールを話しあったり、相談したりしながら自分たちで考えて遊ぶ。
- 学校の友だちと学校外においても遊べるようになる。
- 相手の意見を尊重しながら協同性をもって、学習活動や遊びを楽しむ。

自分で元気な生活をつくろう！　元気に生活する力

- 授業のルール（手をあげて発表する、「ハイ」と返事をする、イスに正しく座るなど）を身につける。
- 学校生活のルール（チャイム時には着席など）を身につける。
- 授業時間と休み時間のけじめをつけ、休み時間は友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。
- 給食の準備や後片づけに慣れる。
- 全校集会などで、立ったまま話をきく姿勢を身につけ、並び順を理解する。

学びを楽しもう！　考えてチャレンジする力

- ノートや下敷きなどの学習用具の正しい使い方を身につける。
- 連絡帳やノートを活用して、文字や言葉を正しくかき写すことを身につける。
- 取り組むことがきめられた時間内は、そのことに集中して取り組む。
- 読書や図書の時間にさまざまな本にふれ、読書の楽しさを感じる。
- 宿題を通して、学習することの楽しさを感じながら、家庭学習の習慣を身につける。

幼稚園・保育所での経験を活かす

- 時計を意識し、一日の見通しを立てて行動する。
- 言葉遊びを通して、読みかきに興味・関心をもつ。
- 図鑑や絵本を活用したり、実際に戸外で探したりして虫や植物への興味・関心をもつ。

教師の指導

【ポイント1】
楽しく宿題に取り組ませる

- 宿題を頑張ったことを認め、褒めたり、励ましたりしながら学習意欲を高めるとともに、自己学習に対する自信をつける。
- ぬり絵やイラストを活用するなど、子どもが宿題を楽しんで取り組めるような工夫をする。
- 宿題の内容や提出期限などをしっかりと伝え、子どもが自ら考え、取り組んでいけるようにする。

【ポイント2】
協同的な学習活動を経験させる

- さまざまな学習活動を友だちと一緒に頑張れるように、グループ学習や協同して学ぶ場を設定する。
- 学習の中での発見や課題を解決した喜びを友だちと共有できるようにする。

【ポイント3】
学校生活のルールを定着させる

- 時間割にそって、次の授業内容を意識しながら、自ら進んで授業準備ができるようにする。
- 授業時間と休み時間の区切りを定着させ、チャイムを意識した行動ができるようにする。
- 視覚教材を用いて、流れを提示することで、スムーズに行動できるようにする。

環境づくり

提出物コーナー	学びを楽しむ機会づくり	時間割・ルールの掲示
宿題など、学習活動における提出物を提出するコーナーを設け、自分で管理する習慣を身につけさせる。	生活科を中心とした学習活動の中で、言葉や数、ものの性質などさまざまな視点からの学習を進める。	一日や一週間の見通しをもった学校生活を送れるように、授業内容なども記載した時間割を掲示する。授業中や休み時間などのルールを掲示する。

接続期の工夫

家庭・地域	●家庭訪問を通して、家庭での生活態度や配慮が必要なことなどについて把握する。 ●宿題をする習慣を身につけるように、保護者にも呼びかける。
幼稚園・保育所など	●保育者と小学校での授業中の子どもの様子などを情報交換し、時間割に応じた生活や授業中の態度など、就学前に身につけさせたいことを共有する。
小学校	●生活科を中心とした、合科的・関連的指導の仕方を話しあう。 ●授業の進め方や内容を統一する。

事例①

好きなものを知らせよう

大切にしたい視点
自分も相手も好きになろう！
きいて話して友だちをつくろう！
学びを楽しもう！

3つの活動形態
わくわくタイム

自分の好きなものを絵にかいて、クラスの友だちにその内容を紹介する発表を行う。

ねらい

大勢の前で発表するための、声の大きさ、話し方、スピードなどを実際に体験しながら学習する。生活科として合科的・関連的な学習を進める中で、学ぶ力を養う。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●用意された用紙に、自分の好きなものをかく。 ●言葉や数字、図形などを用いて、自分の考えを表現する。	●好きなものだけでなく、好きなことでも良いことを伝え、自分の考えを自由に表現させる。
実践	ポイント① ●発表のやり方や、声の大きさの使いわけを学習する。 ●相手に伝えることを整理し、自分の言葉などでどのように伝えるかを考える。	●自分の考えを伝える大切さを教える。 ●言葉だけでなく、体を使ったりしながら表現できることを伝える。
	●全員で発表の練習をする。 ●友だちと一緒に大きな声を出しながら発表練習することを楽しむ。	ポイント② ●大きな声で発表できるように、リズムを入れたり、リレーをしたり、子どもが楽しんで練習できるようにする。 ●友だちの声に埋もれないように、大きな声を出すことを促す。
	●一人ひとりが発表する。 ●他の人が発表している内容や様子、教師から助言されていることを見たり、きいたりしながら自分の発表をさらに良いものにしようとする。	●発表している人の顔を見ることや、発表している時に他の人と話さないなど、人の話をきく姿勢や態度について指導する。 ●発表した子どもの良かったところや直した方が良いところをみんなの前で伝え、他の子どもにも理解させる。 ポイント③
振り返り	●全体練習や個人発表を終えた感想を話しあう。 ●友だちや教師などの前で発表できたことに対する達成感や満足感を味わうとともに、人前で話す自信をつける。	●お互いをより知ることができたか、積極的に学習に取り組めたかなどを確認する。

ポイント①

●場面や状況にあわせた声の大きさや、正しい発表のやり方を一つひとつ具体的に教えていく。
●教師が見本となり、子どもにイメージをもたせる。

ポイント②

●苦手な子どもでも自信をもって言えるように、「わたし（ぼく）は、○○が好きです。」というように発言内容を固定化する。そのうえで、クラス全員に届く声が出せるよう練習する。
●全員で声をそろえたり、男女にわけたり、グループでわけたり、リレーのように順番にあてたりしながら、楽しんで練習できるようにする。

ポイント③

●自分に対して言われていることだけを気に留めたり、関心をもったりするだけでなく、他の人の状況を見たり、きいたりしながら自分の場合におきかえて考えられる力を育むことにつなげる。

評価・反省

クラスのみんなで一体感をもって練習できたことが、子どもたちのやる気や楽しみを生み出し、充実した学習内容になったと思う。

発表の内容が国語や算数の発言のように1問1答の形ではないので、戸惑っている子どももいたが、自由に表現させたことが意欲的な取組みにつながっている場面も見られた。

コメント

この時期には、かき方、きき方、話し方を身につけ定着させていかなければならない重要な時期にあたるため、生活科の学習の中でも話し方やきき方について学ぶ機会があることは大切である。

それ以降には、合科的・関連的に国語や数学、図工、音楽など、さまざまな教科の学習を含めながら学習を進めていくことが必要になる。

事例②

大切にしたい視点
きいて話して友だちをつくろう！
学びを楽しもう！

3つの活動形態
ちゃれんじタイム

初めてのグループ活動

グループごとで、各教室にひらがなでかかれたキーワードを探し、それらをすべてそろえて一つの文章をみつける。また、ポイント地点で立っている教師から出されるクイズに答え、正解するとシールをもらい、自信を身につける。

ねらい

学校生活に少し慣れてきたところで、友だちのことを知り、力をあわせて課題をやり遂げる楽しさを経験させることで、子どもたち同士の交流を深める。また、それぞれが役割をもつことで、その役割をやり遂げることやグループで活動する姿勢や力を身につける。

	子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
準備	●ゲームのルールや方法について話をきき、理解する。 ポイント① ●グループ活動ということを理解し、友だちと協力しながら進める意識を高める。	●子どもたちがさまざまな教師と出会えるように、事前に協力してもらえるように声かけをする。
実践	ポイント② ●グループ内で話しあいをし、探索するルートをきめたり、係（グループ長、副グループ長、記録係、地図係、保健係）などをきめる。 ●グループのルールとして守りたいこと、気をつけたいことを話しあう。	●なるべく子どもたち同士で話しあいを進めさせる。 ●うまく話しあいができないグループは、教師が助言しながら進めさせる。 ●ルールやきまりは、みんなでゲームを楽しむために必要なことを理解させる。 ●グループで行動しながらゲームを進めることを再確認させる。
	●混雑を避けるため、グループごとに時間差をつくり、スタートする。 ●廊下は走らない、はぐれたら教師のいるポイントへ行くなどの約束を確認する。	
	●地図係が校舎配置図をもち、記録係が各教室のキーワードをメモするなど、役割分担を行いながらゲームを進める。 ●グループ長が先導して、ルールを守りながら学校を探索する。	●子どもたちが来ることになっているポイントに立ち、様子を見守るようにする。 ●子どもたちがみんなで協力して、目的の教室までたどりつけているかチェックしながら見回りをする。
振り返り	●教室に戻り、集めたキーワードをつないでどんな文になったか確認しあう。 ●感想を発表しあう。	ポイント③ ●これまでの活動を振り返らせ、グループの中で感想を交流しあう。

ポイント①

●ゲームの目標はキーワードを集め、一つの文章を見つけることだが、この活動の本来の趣旨や目的が、グループ活動を通した交流やそれぞれが役割をもち、それを達成することなどを子どもたちとともに共有することも大切にする。

ポイント②

●グループの話しあい活動では、司会役をきめて、やり方をまず全体の前で説明をする。そして、子どもたちに真似をさせることで話しあいの仕方を学ばせる。
●うなずきながら話をきくなど、きく姿勢がうまくできている子どもを、みんなの前で紹介してたくさん褒めることで他の子どもの意識も高めたい。
●係分担やグループのルールを自分たちできめさせることで、責任感が生まれ、どの子どもも活躍できる場面が増えて、意欲的に活動に取り組めるようになる。

ポイント③

●活動を振り返らせることで、楽しかっただけではなく、ルールの大切さを考えさせる。そして、学校生活ではルールを守ったうえでの楽しさがあることを学ばせる。
●勉強の時だけでなく、遊びの中でもルールを守ってみんなと楽しく遊ぶことは大切であることを確認する。そうすることで、新たな友だちの良いところなども発見できて、友だちとの協調性や思いやりにもつながる。

評価・反省

時間が足りず回りきれないグループがあった。時間配分を考慮する必要がある。

キーワードを集めながら、学校探検をすることや教師から学校に関するクイズが出されるという方法は、子どもたちにとってとても有効であった。

ひらがなが、まだ読めない子どももいたが、グループで行動することで、子どもたち同士で協力したり声をかけあったりする姿が見られ、どの子どもも楽しんで参加することができた。

コメント

小学校１年生の子どもたちだけでの初めてのグループ活動であったため、うまくグループで協力しあえるか不安だったが、上手に声かけをしあう姿が多く見られた。

この活動をきっかけに友だちが増えたり、さらに仲良くなったりする子どもも多く、時期的なタイミングもあっていたと思われる。

春の遠足にもつながる集団行動の勉強になったと思う。

小学校1年生　5月

テーマ

学校は楽しい！
友だちの輪を広げよう

ねらい

- 学校生活や授業の流れを理解し、自分で行動できるようになる。
- 教科書の音読やノートの取り方など、教科学習の取組み方がわかる。
- 担任とのかかわりを深め、周りの教師を知る。
- クラスの子どもたちを認識し、友だちとしてのかかわりを広げる。

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！
大切にする力

音読やスピーチを通して、みんなの前で発表しようとする意欲をもつ。異学年や教師とのかかわりを通して、校内にあるさまざまなものや場所、学校生活を支えている人などを知る。

きいて話して友だちをつくろう！
つながる力

席替えや外遊びを通して、クラスの子どもたちとふれあい、友だちとの関係を築いていく。

自分で元気な生活をつくろう！
元気に生活する力

学校生活のルールを身につける。一日の学校生活の流れを見通す。

学びを楽しもう！
考えてチャレンジする力

教科書を使って、教科学習に取り組む。黒板の字をノートにかき、文字・数字をかく楽しさを感じる。

教師の指導

- チャイムや時計を意識して行動できるように促す。
- 音読やノートの取り方を、繰り返し指導する。
- 子ども同士の人間関係が広がるよう促す。

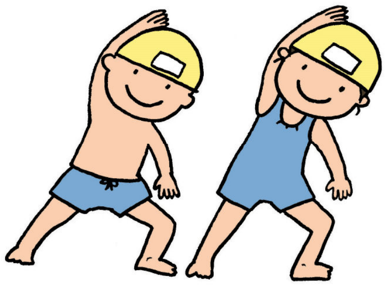
環境づくり

- 時間割表を提示し、5月から時間割通りに進める。
- マス黒板など視覚的にわかりやすい掲示物を多用する。
- 授業時間だけでなく、休み時間も人間関係が広がるよう、みんなで遊びを取り入れる。

小学校1年生　6月

テーマ

学びを深めよう！
水泳学習も始まるよ



ねらい

- 言葉や文字、数字をかくことに対する興味・意欲が高まる。
- 集団生活のルールや態度を身につける。
- 水泳学習のルールや準備を理解する。

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！ 大切にする力
自分の考えや思いをみんなの前に出て伝えようとする。

きいて話して友だちをつくろう！ つながる力
教師の話や指示をしっかりとききき、遊びを通して友だちとの関係を深める。

自分で元気な生活をつくろう！ 元気に生活する力
学年全体で指示をきいて自分で行動できる。事前準備（着替え・ルール・準備物）の仕方を学ぶ。

学びを楽しもう！ 考えてチャレンジする力
言葉集めを通して、多くの語句にふれたり、短い文をつくったりできる。足し算・引き算を学習し、計算への興味・関心をもつ。

教師の指導

- 子どもの興味・関心が高まるように、教材を工夫する。
- 生活や学習の流れの見通しを感じて、行動できるように指導する。
- 宿題や提出物、学習用具などの忘れ物が多い子どもの保護者と連絡をとり、安心して生活するために忘れ物をしないよう協力を依頼する。

環境づくり

- 間違いやつまずきを活かす指導を心がけ、子どもの気持ちに寄り添いながら学習や活動を展開する。

小学校1年生　7月

テーマ

学びを振り返ろう！
楽しい夏休みまでもう少し

ねらい

- 1学期の学習をまとめて振り返る。
- 自ら健康や安全に気をつけて生活することを意識する。

大切にしたい視点

自分も相手も好きになろう！　大切にする力

初めての通知表をもらい、自身の努力や成長を実感する。

きいて話して友だちをつくろう！　つながる力

友だちと約束し、遊ぶ。学校外でも友だちとの関係を広げる。

自分で元気な生活をつくろう！　元気に生活する力

夏休みの過ごし方を理解し、楽しく安全に過ごすようにする。

学びを楽しもう！　考えてチャレンジする力

1学期の学習が定着する。絵日記のかき方を学び、自分の思いを文章にする。

教師の指導

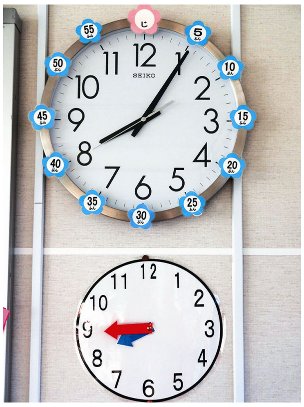
- これまでの学習内容のまとめを通して、学習の定着を促す。
- 習ったひらがなを使って、自分の思いを表現する楽しさを感じさせる。

環境づくり

- 1学期の学習を振り返るシートを活用して、子ども自身が成長を実感できる機会をもつ。
- 人間関係の広がりやさまざまな行事を通して学んだことなどを、互いにわかちあえる場を設ける。

参考：幼保小の接続期の環境づくり

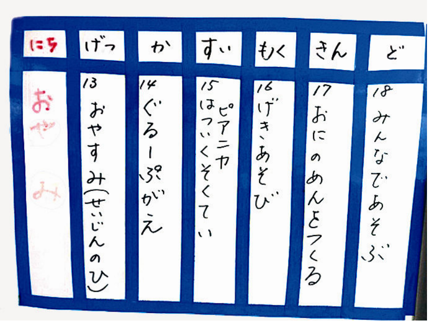
時間を意識する



一日の予定

行事を知る

1週間のスケジュール



ひらがな表

言葉遊びゲーム

お手紙ごっこのポスト・スタンプ

ひも結び練習

※幼稚園・保育所や小学校で取り組まれている環境づくりを掲載しています。

小学校1年生　4月の週案モデル

	第1週のテーマ：　初めまして、小学校！					
	2日（火）	8日（月）	9日（火）	10日（水）	11日（木）	12日（金）
1時間目	**入学式** ・入学式に参加する。 ・歓迎の言葉をきく。	**使い方を知ろう** ・下足、トイレ、連絡袋などの使い方を覚える。	**元気にあいさつ** ・あいさつや返事の仕方、出欠の取り方などを覚える。	**楽しく歌おう** ・幼稚園や保育所で歌った歌でリズム体操などを行う。	**対面式練習** ・次週に行われる対面式の趣旨などを知る。 ・並び方やあいさつの仕方を覚える。	**運動場で遊ぼう** ・ドッジボールや鬼ごっこなど、運動場で体を動かす。
	行事1	生活1/2　学活1/2	国語1/2　学活1/2	体育1/2　音楽1/2	国語1/2　学活1/2	体育1
2時間目	**初めての学級** ・学校、教師の名前、自分の座席などを覚える。	**下校準備・指導** ・同じ通学路の子ども同士で自己紹介をする。	**使い方を知ろう** ・机やイス、引き出し、ロッカーなどの使い方を覚える。	**好きな遊び** ・幼稚園や保育所で行っていた遊びを行う。例：じゃんけん大会など。	**好きな遊び** ・小学校にあるさまざまな遊具の使い方を理解し、遊ぶ。	**教材の使い方** ・教科書やノートの使い方を教わる。 ・えんぴつを使いながら、ひらがなをかく練習する。
	国語1/2　学活1/2	国語1/2　学活1/2	生活1/2　学活1/2	体育1/2　音楽1/2	体育1	国語1
3時間目			**下校準備・指導** ・同じ通学路の子ども同士で自己紹介をする。	**自己紹介をしよう** ・自分の名前と好きなものやことを、クラスのみんなの前で紹介する。	**学校を探検しよう** ・教師や友だちと一緒に、さまざまな教室や部屋を見回る。 ・各教室や部屋の目的や使用方法について知る。 ・出会った教師や職員の人に、名刺を渡して自己紹介する。	**給食を知ろう** ・栄養士から給食や食に関する話をきく。 ・給食をつくるための調理器具を見たりふれたりする。 ・来週から始まる給食の献立や食材などについて教えてもらう。
			国語1/2　学活1/2	生活1/2　国語1/2		
4時間目				**名刺をつくろう** ・自分の名前を紙にかく。		
				国語1/2	生活1/2　国語1/2　学活1/2	生活3/2
				下校準備・指導 ・安全な下校の仕方について理解する。	**下校準備・指導** ・安全な下校の仕方について理解する。	**下校準備・指導** ・安全な下校の仕方について理解する。
				国語1/4　学活1/4	国語1/4　学活1/4	国語1/4　学活1/4

時数	生活：　3　1/2　　国語：5　3/4　　算数：0　　体育：3　　音楽：1　　図工：0　　道徳：0　　学活：4　3/4　　行事：1

再掲：3つの活動形態

たのしみタイム
（学校が好きになる、行きたくなる）
　ふれあい交流や遊びを取り入れた学習などにより、学校生活を知って楽しみにし、学校も教師も友だちも好きになるための時間。

わくわくタイム
（学びに向かい、学びを楽しむ）
　生活科を中核とした合科的・関連的な学習を進め、学びの芽生えを活かしながら、学習への興味・関心を高める時間。

ちゃれんじタイム
（学びを深め、意欲的に学ぶ）
　教科ごとの学習に取り組み、学びを深め、意欲的に学習していく力を身につける時間。

第2週のテーマ： いよいよ勉強！自分で生活！

	15日（月）	16日（火）	17日（水）	18日（木）	19日（金）
1時間目	**対面式であいさつ** ・6年生に誘導されながら、みんなの前であいさつをし、プレゼントをもらう。 ・他の学年の子どもとふれあい活動を行う。 国語1/2 学活1/2	**似顔絵をかこう** ・鏡を見ながら、自分の顔をえんぴつやクレヨンを使ってかく。 ・友だちと見せあったりしながら楽しむ。 国語1/2 図工1/2	**2年生とのふれあい交流** ・2年生とグループをつくり、簡単なゲームで交流を深める。 生活1/2 学活1/2	**読みきかせ** ・幼稚園・保育所で読んだ絵本や小学校にある新しい絵本を見たり、読んだりする。 国語1	**体育館で遊ぼう** ・体育館でリズムにあわせて体を動かす。 ・クラスを2つのグループにわけて、ドッジボールを行う。 体育1/2 音楽1/2
2時間目	**検診** ・内科検診などを受診する。 ・体や健康についての話をきく。 国語1/2 学活1/2	**春をみつけよう** ・運動場や近くの公園に出かけ、春の花や草木を観察（名前を知る、数を数える）する。 ・発見したものを友だちと一緒に見せあう。 生活1 国語1/2 算数1/2	**検診** ・視力・聴力検診を受診する。 ・体や健康についての話をきく。 国語1/2 学活1/2	**かけっこ** ・背の順や席の順などでかけっこをしたり、おにごっこする。 生活1/2 体育1/2	**学校の外を探検しよう** ・学校の外にはどんな建物や自然があるのか探検する。 ・学校の周りを一周しながら、散策する。 生活1
3時間目	**学校を探検しよう** ・教師や友だちと一緒に、先週探検した場所以外の教室・部屋を見回る。 生活1		**ならびっこ** ・背の順や席の順など、さまざまなパターンの並び方をゲーム形式で行う。 生活1/2 体育1/2	**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語1	**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語3/2
4時間目	**給食準備** ・6年生が給食の準備をする。 ・1年生は6年生が準備している様子を見て、何をするのかを理解する。 生活1	**春をかいてみよう** ・「春をみつけよう」で発見した花などを生活カードにかく。 国語1/4 図工1/4	**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語1/2	**1～10の数** ・1～10までの数を唱えたり、かいたりして覚える。 算数1/2	
		給食準備 ・6年生を見て、給食の準備を理解する。 生活1/2	**給食準備** ・6年生を見て、給食の準備を理解する。 生活1/2	**給食準備** ・6年生を見て、給食の準備を理解する。 生活1/2	**給食準備** ・6年生を見て、給食の準備を理解する。 生活1/2
	楽しい給食				
5時間目	**そうじの仕方** ・そうじ道具の種類や置き場所、仕方を教わる。 国語1/2 学活1/2	**ねんど遊び** ・道具の使い方を教わる。 ・ねんどを使って自由に制作活動を行う。 図工1	**1～10の数** ・1～10までの数を唱えたり、かいたりして覚える。 ・周りにある1～10までの物を探してみる。 算数1	**リズム遊び** ・幼稚園・保育所で経験したリズム遊びや小学校で新しく知ったリズム遊びを行う。 音楽1/2 学活1/2	**1～10の数** ・1～10までの数を唱えたり、かいたりして覚える。 ・周りにある1～10までの物を探してみる。 算数1

時数	生活：7 1/2　国語：7 1/4　算数：3　体育：1 1/2　音楽：1　図工：1 3/4　道徳：0　学活：3　行事：0

第3週のテーマ： 係の仕事、始まるよ！～勉強も頑張ろう～

	22日（月）	23日（火）	24日（水）	25日（木）	26日（金）
1時間目	**全校集会への参加** ・全校集会に参加する。 学活1/2 **運動場で遊ぼう** ・ボール遊びや鬼ごっこなど、体を動かして遊ぶ。 体育1/2	**歌でなかよし** ・小学校で新しく教わった歌をクラスの友だちと一緒に歌う。 ・輪唱などのゲームを交えながら楽しく歌ったり、体でリズムをとったりする。 体育1/2　音楽1/2	**エイテール体操** ・エイテール体操（八尾市の体操）を教えてもらい、みんなで楽しく踊る。 体育1/2　音楽1/2	**おんどく** ・国語の教科書をみんなで音読する。 ・部分わけしながら、担当をきめて音読したりする。 国語1	**おんどく** ・国語の教科書をみんなで音読する。 ・部分わけしながら、担当をきめて音読したりする。 国語1
2時間目	**おんどく** ・国語の教科書をみんなで音読する。 ・部分わけしながら、担当をきめて音読したりする。 国語1	**おんどく** ・国語の教科書をみんなで音読する。 ・部分わけしながら、担当をきめて音読したりする。 国語1	**おんどく** ・国語の教科書をみんなで音読する。 ・部分わけしながら、担当をきめて音読したりする。 国語1	**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語1	**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語1
3時間目	**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語1	**図書館で本を見よう** ・図書館に行き、自分の好きな本を探し、見たり、読んだりする。 ・それぞれが好きな本を借りる。 生活1/2 国語1/2 算数1/2	**1～10の数** ・1～10までの数を唱えたり、かいたりして覚える。 算数1	**こいのぼり制作** ・画用紙に色を塗ったり、はさみで切ったりしながら、こいのぼり制作の素材をつくる。 ・つくった素材をクラスのみんなで貼りつけながら、一つのこいのぼりを制作する。 生活1/2 国語1/2 図工1/2	**1～10の数** ・1～10までの数を唱えたり、かいたりして覚える。 算数1
4時間目	**給食準備** ・1年生だけで給食の準備を行う。 ・グループをわけて、そのうち1グループが給食の準備を行う。 生活1	**給食準備** ・給食当番が給食の準備をする。 生活1/2	**宿題頑張ろう** ・宿題の目的や内容、提出物・期限などを理解する。 生活1/4　学活1/4 **給食準備** ・給食当番が給食の準備をする。 生活1/2	**給食準備** ・給食当番が給食の準備をする。 生活1/2	**さまざまな動き** ・体を曲げたり伸ばしたりしながら、さまざまな動きをする。 生活1/4　体育1/4 **給食準備** ・給食当番が給食の準備をする。 生活1/2
	楽しい給食				
下校	家庭訪問 行事1				

時数	生活：4 1/2　国語：9　算数：2 1/2　体育：1 3/4　音楽：1　図工：1/2　道徳：0　学活：3/4　行事：5

第4週のテーマ： いよいよ時間割通り始まるよ！～宿題も頑張ります～

	29日（月）	30日（火）	5月1日（水）	5月2日（木）	5月3日（金）
1時間目	昭和の日	**ならびっこ・かけっこ** ・背の順や席の順など、さまざまなパターンの並び方をゲーム形式で行う。 ・並んだ順でかけっこする。 生活1/2　学活1/2	**好きなものを知らせよう** ・自分の好きな絵などで、画用紙にかく。 ・かいたものを友だちの前で発表をする。 ・クラスの友だちと見せあいっこしながら、感想を話しあう。 生活1/2　国語1/2	**さまざまな動き** ・友だちとペアになり、体を曲げたり伸ばしたりしながら、さまざまな動きをする。 生活1/2　体育1/2	憲法記念日
2時間目		**おんどく** ・国語の教科書をみんなで音読する。 ・部分わけしながら、担当をきめて音読したりする。 国語1	**図書館で本を見よう** ・図書館に行き、自分の好きな本を探し、見たり、読んだりする。 ・それぞれが好きな本を借りる。 生活1/2　国語1/2	**おんどく** ・国語の教科書をみんなで音読する。 ・部分わけしながら、担当をきめて音読したりする。 国語1	
3時間目		**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語1	**ひらがなを覚えよう** ・ひらがな順を発声したり、かいたりして覚える。 国語1	**初めてのグループ活動** ・グループごとで、各教室にひらがなでかかれたキーワードを集めて、一つの文章をつくる。 国語1	
4時間目		**いくつかな** ・教師が見せたものの個数などを数字でかいたりする。 算数1/2	**いくつかな** ・教師が見せたものの個数などを数字でかいたりする。 算数1/2	**いくつかな** ・教師が見せたものの個数などを数字でかいたりする。 算数1/2	
		給食準備 ・給食当番が給食の準備をする。 生活1/2	**給食準備** ・給食当番が給食の準備をする。 生活1/2	**給食準備** ・給食当番が給食の準備をする。 生活1/2	
		楽しい給食			
5時間目		**あさがおを育てよう** ・校庭で、あさがおの種を植える。 ・あさがおの育つ過程や花の構造について教わる。 生活1	**ココロのことば** ・道徳の教材などを使いながら、思いやりの気持ちや言葉の大切さについて教わる。 国語1/2　道徳1/2	**歌でなかよし** ・小学校で新しく教わった歌をクラスの友だちと一緒に歌う。 ・輪唱などのゲームを交えながら楽しく歌ったり、体でリズムをとったりする。 学活1/2　音楽1/2	

時数	生活：4 1/2	国語：6 1/2	算数：1 1/2	体育：1/2	音楽：1/2	図工：0	道徳：1/2	学活：1	行事：0